

J R 東海労申第 9 号
2017年8月4日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 柘植 康英 殿

J R 東海労働組合
中央執行委員長 小林 光昭

「東海道新幹線作業滑車取り忘れ」報道に関する申し入れ

8月1日、マスコミで「大阪府摂津市の東海道新幹線で7月、架線の張り替え作業で使った滑車1個を撤去し忘れ架線に固定したままの状態丸1日、列車を走らせていた」などと報道された。

J R 東海労は、これが事実なら安全上看過できない事態だと考える。下記の通り申し入れるので誠意ある対応を行うこと。

記

1. 事象の詳細を時系列も含め詳細に明らかにすること。
2. 作業用滑車を取り忘れた原因を明らかにすること。
3. 安全に支障はないと判断したのならば、社員の監視は必要ないのであって、監視を付けたということは安全に支障があると会社が考えていた証左である。会社の見解を明らかにすること。
4. あってはならない箇所にあってはならないものが存在している状態で列車を通常走行させたことは安全上問題である。会社の見解を明らかにすること。
5. 「列車に遅れはなく、安全に支障もなかったので公表しなかった」と報道されているが、公表しなかったことがなぜ報道されたのか明らかにすること。

以 上